

## 第1 事業報告書

平成26年度公益財団法人広島市農林水産振興センター事業報告書  
(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

### 1 設立目的及び概況

#### (1) 設立目的

広島市における農林水産業等の振興を図るとともに、農山漁村地域の持つ公益的機能を活用した事業を推進し、もって活力ある農山漁村地域の確立と健康で豊かな市民生活の向上に寄与することを目的とする。

#### (2) 概況

##### ア 設立年月日

平成 4年4月1日 財団法人広島市農業振興センターとして設立  
平成10年4月1日 財団法人広島市林業振興公社と統合  
平成17年4月1日 財団法人広島市水産振興協会と統合  
平成24年4月1日 公益財団法人へ移行

##### イ 基本財産

設立当初、基本財産は、5,000万円（全額広島市出資）であったが、平成10年4月1日財団法人広島市林業振興公社との統合に伴い、同財団から3,000万円を寄附受領した。また、平成17年4月1日財団法人広島市水産振興協会との統合に伴い、広島市から1,000万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、9,000万円（うち広島市出資6,000万円）である。

##### ウ 実施事業

- (ア) 農林水産業の振興に関する指導及び普及啓発
- (イ) 農林水産業に関する調査及び試験研究
- (ウ) 水源涵養、緑地保全等公益的機能の活用に関する指導及び普及啓発
- (エ) 農山漁村地域の担い手の育成及び指導
- (オ) 農地利用集積円滑化に関する事業
- (カ) 水産資源の維持増殖に必要な重要魚介類等の種苗生産
- (キ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 2 役員等の状況

#### (1) 役員等の数

理事長	1人
常務理事	1人
理事	8人
監事	2人
評議員	7人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役 職	氏 名	異動内容
平成26年6月12日	理 事 長	戸 田 均 史	重 任
平成26年6月12日	常務理事	大 丸 秀 士	重 任
平成26年6月12日	理 事	甲 斐 智 子	重 任
平成26年6月12日	理 事	吉 川 清 二	重 任
平成26年6月12日	理 事	倉 本 守	重 任
平成26年6月12日	理 事	島 本 啓 司	重 任
平成26年6月12日	理 事	鈴 木 修 治	重 任
平成26年6月12日	理 事	橋 本 敏 信	退 任
平成26年6月12日	理 事	胡 子 昌 宏	就 任
平成26年6月12日	理 事	福 田 五 郎	重 任
平成26年6月12日	理 事	向井田 輝 紀	重 任
平成26年6月12日	監 事	井手下 文 子	重 任
平成26年6月12日	監 事	手 島 健 志	重 任
平成27年3月31日	理 事 長	戸 田 均 史	辞 任
平成27年3月31日	常務理事	大 丸 秀 士	辞 任

イ 平成27年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役 職	氏 名	就任年月日
理 事 長	戸 田 均 史	平成24年 4月 1日
常務理事	大 丸 秀 士	平成24年 4月 1日
理 事	胡 子 昌 宏	平成26年 6月 12日
理 事	甲 斐 智 子	平成24年 4月 1日
理 事	吉 川 清 二	平成24年 4月 1日
理 事	倉 本 守	平成24年 4月 1日
理 事	島 本 啓 司	平成24年 4月 1日
理 事	鈴 木 修 治	平成24年 4月 1日
理 事	福 田 五 郎	平成24年 4月 1日
理 事	向井田 輝 紀	平成24年 4月 1日
監 事	井手下 文 子	平成24年 4月 1日
監 事	手 島 健 志	平成24年 4月 1日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役 職	氏 名	異動内容
平成26年6月30日	評 議 員	栗 栖 昭	辞 任
平成26年7月 1日	評 議 員	森 正 記	就 任

イ 平成27年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役 職	氏 名	就任年月日
評 議 員	浅 枝 俊 治	平成24年 4月 1日
評 議 員	伊 東 祐 保	平成24年 4月 1日
評 議 員	河 野 芳 徳	平成24年 4月 1日
評 議 員	後 藤 慎 太 郎	平成24年 4月 1日
評 議 員	中 川 和 義	平成24年 4月 1日
評 議 員	森 正 記	平成26年 7月 1日
評 議 員	山 本 雅 子	平成24年 4月 1日

3 理事会等の開催

(1) 理事会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審 議 結 果
平成26年5月22日	平成26年第2回	平成25年度公益財団法人広島市農林水産振興センター事業報告及び決算	承認
		定時評議員会の招集について	原案可決
		平成25年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況等について「報告」	終了
		平成26年度における職務の執行状況について「報告」	終了
平成26年6月12日	平成26年第3回	理事長の選定について	選定
		常務理事の選定について	選定
平成27年3月30日	平成27年第1回	平成27年度公益財団法人広島市農林水産振興センター事業計画及び収支予算	承認
		常勤役員の報酬等について	承認

平成27年3月30日	平成27年第1回	「公益財団法人広島市農林水産振興センター寄附金等取扱規程」の制定について	原案可決
		平成26年度における職務の執行状況について「報告」	終了

(2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付議事項	審議結果
平成26年6月12日	平成26年第1回	平成25年度公益財団法人広島市農林水産振興センター事業報告「報告」	終了
		平成25年度公益財団法人広島市農林水産振興センター決算	承認
		評議員の選任について（1名）	選任
		理事の選任について（10名）	選任
		監事の選任について（2名）	選任

4 定款の変更

事業年度中の定款の変更はなし。

5 職員の状況

平成27年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。（単位：人）

区分	事務職員					小計	技術職員					小計	業務員	非常勤職員	合計	
	部長級	課長級	補佐級	係長級	主事		部長級	課長級	補佐級	係長級	技師					
農林部	調整課				2	3	5	2	1				3		3	11
	農業振興課								1	2	1	9	13			13
	農林体験推進課								1	1	1	6	9		2	11
水産部	普及指導課					1	1	1			1	2	4		2	7
	栽培漁業課								1	1	1	1	4	2	2	8
合計				2	4	6	3	4	4	4	18	33	2	9	50	

## 6 事業の実施状況

次の事業を実施した。

### (1) 公益目的事業

138,484,651円

次のとおり公益目的事業を実施した。

#### ア 農業の担い手の育成及び試験研究（公益目的事業1）

42,449,690円

区分	事業内容等	決算額
担い手の育成	<p><b>“ひろしま活力農業” 経営者育成</b></p> <p>本格的な農業経営を行う若い農業者を育成するため、研修を行うとともに農地の幹旋や営農支援を行った。</p> <p>(ア) 研修活動</p> <p>    a 17期生1年目基礎研修 3人         講義及び実習 234日</p> <p>    b 16期生2年目実地研修 3人         就農予定地(安佐町)での営農研修</p> <p>(イ) 18期生募集・選考</p> <p>    a 応募 7人</p> <p>    b 選考 3人(公募2人 推薦1人)</p> <p>        ※ 広域連携による安芸太田町1人を含む</p> <p>(ウ) 農地の確保・幹旋 農地の利用権設定 17期生 14筆 17,295㎡</p> <p>(エ) 経営確立支援 営農支援講習等 受講者 1～16期生 延べ41人</p>	千円 6,639
	<p><b>「スローライフで夢づくり」 定年就農者育成（指定管理業務）</b></p> <p>定年後の就農希望者等への研修を行うとともに、農地の幹旋や就農者への営農支援を行った。</p> <p>(ア) 研修活動</p> <p>    10期生研修 13人         講義及び実習 132日</p> <p>(イ) 11期生募集・選考</p> <p>    a 応募 4人</p> <p>    b 選考 3人</p> <p>(ウ) 農地の確保・幹旋 農地の利用権設定 10期生 35筆 15,941㎡（13人就農）</p> <p>(エ) 就農後の活動支援 営農支援講習等 受講者 1～9期生 延べ63人</p>	千円 355

区 分	事 業 内 容 等	決算額
担い手の育成	<p><b>ふるさと帰農者育成</b> 農家出身者を対象に栽培や販売の研修などを行った。</p> <p>(ア) 研修活動 9期生研修 5人 講義、実習及び先進農家見学など 95日</p> <p>(イ) 10期生募集・選考 a 応募 8人 b 選考 8人</p> <p>(ウ) 就農後の活動支援 営農支援講習等 受講者 1～8期生 延べ119人</p>	千円 190
	<p><b>“チャレンジ”女性農業者育成</b> 農家の女性を対象に野菜・花きの生産、加工、販売の研修などを行った。</p> <p>(ア) 研修活動 5期生研修 5人 講義、実習及び先進農家見学など 95日</p> <p>(イ) 6期生募集・選考 a 応募 2人 b 選考 2人</p> <p>(ウ) 就農後の活動支援 営農支援講習等 受講者 1～4期生 延べ26人</p>	千円 134
	<p><b>“まかせんさい”広島市女性農業士認定</b> 広島市が認定した女性農業士への研修などを行った。</p> <p>(ア) 研修活動 10期生1年目研修 3人 5回 a 講習会「表現力の向上について」など3回 b 市内農家見学 2回</p> <p>(イ) 活動事例調査 岡山市 1回</p> <p>(ウ) 情報誌発行 「広島市女性農業士だより」 1回発行 女性農業士及び関係機関へ配布 60部</p>	千円 137

区 分	事 業 内 容 等	決算額
担い手の育成	<p><b>広島市農業経営改善支援センターの運営</b>  「認定農業者」の経営改善に関する相談、支援研修の開催、情報収集・提供活動などを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認定者数 17人（新規4人、再認定13人）</li> <li>・認定農業者総数 102経営体</li> </ul> <p>(ア) 窓口相談及び経営改善支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 経営改善に関する相談 17件</li> <li>b 税務説明会1回4人、合同研修会等 延べ39人</li> <li>c 広島市認定農業者協議会総会の開催 2月</li> </ul> <p>(イ) 情報収集提供活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 全国農業担い手サミット（兵庫県）へ参加 3人</li> <li>b 経営改善フォローアップ活動 11回</li> </ul>	千円 166
	<p><b>農地利用集積円滑化</b>  新規就農者や農事組合法人など、農業の担い手へ農地の利用集積を行った。</p> <p>(ア) ひろしま活力農業経営者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1～17期生 31人 142筆 253,394㎡</li> </ul> <p>(イ) 「スローライフで夢づくり」定年就農者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1～9期生 32人 81筆 53,048㎡</li> </ul> <p>(ウ) 農事組合法人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a よしやま 237筆 305,568㎡</li> <li>b 戸山の郷中王 349筆 127,768㎡</li> </ul>	千円 8,355
試験研究	<p><b>農業に関する試験研究（指定管理業務）</b>  広島市農業振興センターにおいて、野菜・花き等の栽培試験及び普及啓発を行った。</p> <p>(ア) 野菜・花き等の栽培試験及び普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a 葉物野菜の栽培試験  コマツナの品種比較など 2件</li> <li>b 直売所向けの野菜・花きの栽培展示 45品目</li> <li>c 効率的な栽培システムの実証展示 3件</li> </ul> <p>(イ) 農家ほ場の土壌診断</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土ドック 1,132件、一般分析 768件</li> </ul> <p>(ウ) 園芸バイオ技術による野菜や花き等の優良種苗の生産供給</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>フキ、サツマイモなど5品目 4,330株</li> </ul> <p>(エ) 施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設等の保守点検や維持補修を行った。</li> <li>敷地面積 16,147㎡</li> <li>事務所棟、試験ほ場、ガラス温室など 25棟</li> </ul>	千円 26,474

イ 農林業に関する普及啓発等（公益目的事業2）

61,398,175円

区分	事業内容等	決算額															
普及啓発	<p><b>“ひろしまそだち”地産地消推進</b></p> <p>“ひろしまそだち”の普及啓発を行い、地産地消を推進した。</p> <p>(ア) 普及啓発活動</p> <p>a 情報誌「ひろしまそだちだより21号」の発行 協議会員、関係機関などへ配布 3,000部</p> <p>b 「ひろしまフードフェスティバル2014」での産品PR</p> <p>c ホームページによる情報発信</p> <p>(イ) 推進体制の強化</p> <p>a “ひろしまそだち”地産地消推進協議会の開催 1回</p> <p>b “ひろしまそだち”野菜アドバイザー育成・支援 料理教室などで市民へ“ひろしまそだち”の普及啓発を行う野菜アドバイザーの研修と修了生の活動支援を行った。</p> <p>(a) 7期生研修 5人 コマツナの収穫体験と鮮度比較など 10回</p> <p>(b) 8期生募集・選考 応募 5人、選考 5人</p> <p>(c) 活動支援（対象者：1～6期生53人） “ひろしまそだち”普及啓発用のコマツナ、ミズナ、葉ネギなどの野菜提供 2回</p> <p>c “ひろしまそだち”地産地消協力店 “ひろしまそだち”産品を積極的に取り扱う小売・飲食店の登録を行った。 ※ 登録数39店舗（新規1店舗）</p> <p>d “ひろしまそだち”地産地消サポーター “ひろしまそだち”を通じた地産地消の推進に賛同する市民をサポーター登録した。 ※ 登録数630人（新規44人）</p> <p>(ウ) ひろしま朝市の支援 地産地消と都市農村交流を推進する朝市の開催支援を行った。</p> <p>a 開催状況</p> <table border="1" data-bbox="576 1765 1295 1984"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催回数</th> <th>来客数</th> <th>出店数</th> <th>販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間</td> <td>48回</td> <td>13,583人</td> <td>735店</td> <td>15,485,910円</td> </tr> <tr> <td>1回 当り</td> <td>—</td> <td>283人</td> <td>15店</td> <td>322,623円</td> </tr> </tbody> </table> <p>b イベント開催 4回</p>	区分	開催回数	来客数	出店数	販売額	年間	48回	13,583人	735店	15,485,910円	1回 当り	—	283人	15店	322,623円	千円 2,883
区分	開催回数	来客数	出店数	販売額													
年間	48回	13,583人	735店	15,485,910円													
1回 当り	—	283人	15店	322,623円													



区 分	事 業 内 容 等	決算額
普及啓発	<p><b>食農推進</b>            市民へ「食」と「農」の大切さの啓発を行った。            (ア) 食農体験推進                農業振興センターで、栽培から収穫、調理・試食までの体験会を行った。                a おいしい枝豆の食農体験 3回 延べ24人                b 観音ネギの食農体験 2回 延べ18人            (イ) 食農コーディネーター活動支援                食農体験等の企画・運営に携わる市民ボランティアの育成と修了生の活動支援を行った。                1～7期生 38人                a フォローアップ研修会及び体験会 6回 延べ30人                b “ひろしまそだち”の普及啓発用の野菜提供                    コマツナ、ミズナ、葉ネギなど 5回</p>	千円 89
	<p><b>広島市アグリ人材バンク</b>            農業・農村振興にかかる優れた技能を指導できる人材の発掘・登録を行った。            ※ 登録28人(新規2人)</p>	千円 16
	<p><b>市民参加の森林づくり</b>            市民が森林づくりの運動に自発的に参加するよう、技術の修得や機会の提供を行った。            (ア) 「もりメイト」育成                市民参加の森林づくりの先導的役割を果たすボランティアを育成するため、森林に関する知識や林業技術習得に係る講習会を開催した。                a 19期生募集・選考                    応募 33人、選考 33人                b 19期生講習 29人                    下刈り、間伐、植林、枝打ちなど 8回            (イ) チェーンソー特別講習                チェーンソーを使用する伐木等の業務に係る法定特別講習を開催した。 2日間 21人            (ウ) みどりの里親制度                子どもたちの森林への親近感を醸成するため、家庭でドングリの苗木を「里親」として育て、再び山に戻す活動をサポートした。                森林公園において植樹                    11月16日(日) 43人(平成24年度登録者)            (エ) 森の訪問者活動支援                森林の整備活動を支援するため、活動を行う団体に対し、道具や安全具の貸出しを行った。                貸出回数 12回(8団体) 貸出個数 延べ1,236個</p>	千円 -

区 分	事 業 内 容 等	決算額
普及啓発	<p>(オ) ひろしま「森の市」の開催 市民の森林や林業への理解を深めるため、森林ボランティア団体の活動紹介や、木製品や森の産物の展示販売などを支援するイベントを実施した。 11月3日(祝) 森林公園 (入園者数4,178人) 参加団体 17団体</p> <p>(カ) みどりの少年団育成 小学校高学年を対象に、自然への理解や愛護心を養うため、森林などに生息する植物や動物についての観察学習を行った。 a 団員 60人 (小学4～6年生・少年団OB) b 活動 植物観察など 9回 参加者 延べ350人</p>	—
	<p><b>里山整備士養成講座</b> 里山の再生・整備を、市民ボランティアと地域住民が協働で行う際の指導役を担う「里山整備士」を養成した。(研修期間2年) (ア) 10期生1年目基礎講座 5人 12回 植生調査、測量、整備実習などを行った。 (イ) 9期生2年目実践講座 5人 11回 基礎講座修了者による里山林整備の実践を行った。</p>	千円 560
	<p><b>「ひろしま農林水産振興ニュース」の発行</b> 農林漁業者や市民に対し、本財団の業務紹介などを行い、農林水産業の理解促進を図った。 年2回発行 7月(第43号)、3月(第44号) 農家、関係機関などへ各号13,000部配付</p>	千円 209
体験活動	<p><b>花みどり公園(指定管理業務)</b> 公園内の諸施設の管理運営を行うとともに、園内の花木などを活用して、花や緑への興味や知識を深める講習会などを開催した。 (ア) 施設の運営状況 a 年間入園者数 68,910人 b 年間駐車台数 25,100台 (イ) 施設の維持管理 施設等の保守点検や維持補修を行った。 敷地面積 92,503㎡ 管理棟、ガラス温室など 4棟 ドッグランの設置 大型犬用、小型犬用</p>	千円 27,441

区 分	事 業 内 容 等	決算額
体験活動	(ウ) 講習会等の開催 a 「2014春のシャクナゲふれあい祭り」 4月27日(日)～5月6日(休) 10日間 13,570人 (a) シャクナゲ展 (b) 花みどり公園めぐり (園内案内) 7人 (c) 花苗の無料配布 4月29日(祝) 500鉢 b 園芸教室の開催 コケ玉づくり 4回、ガーデニング 3回、 庭木の管理等 7回、シャクナゲ講座 5回 全19回 延べ381人 c 食農体験教室の開催 ブルーベリージャム作り 2回、しめ縄作り 2回 全4回 延べ108人 (エ) 花みどり公園ファンクラブの活動 植替え・除草や剪定などの園内管理 107日 延べ965人	—
	<b>ひろしま市民の里@安佐</b> 野菜づくりや里山づくりなどの農林業体験を通じて、自然にふれあい、交流する機会を提供した。 (ア) 農林業体験参加者の募集・登録 ※ 登録者数 177人 (イ) 農地の復元 畑 500㎡ (ウ) 農林業等体験(308日 延べ 1,214人) a 農林産物の栽培 ダイズ、ソバ、サツマイモなど 46品目 b 食文化体験 豆腐作り、餅つき、そば打ちなど 12品目 c 里山林の手入れ体験 d 自然観察会 2回 (エ) 運営協議会の開催 1回	千円 6,180
	<b>広島市市民体験農園</b> 農家が開園した市民体験農園の入園事務を行うとともに、管理指導者の活動支援を行った。 2農園 (安佐北区勝木、佐伯区石内) 共同体験エリア 75組 (入園55組、73.3%) 個人体験エリア 111区画 (入園75区画、90.1%) 入園事務 入園者の募集・貸付契約事務	千円 2,845

区 分	事 業 内 容 等	決算額						
体験活動	<p><b>広島市市民菜園</b>  農家が開園した市民菜園の管理運営を行い、新規開園のための普及啓発を行った。</p> <p>42菜園 2,702区画  (入園2,363区画、87.5%)</p> <p>(ア) 入園事務  入園者の募集、貸付契約事務</p> <p>(イ) 施設の維持管理  ポンプ等附帯設備の修繕、空き区画の管理など</p> <p>(ウ) 栽培講習会  8回 延べ226人(市内4か所で開催)</p> <table border="1" data-bbox="614 683 1177 824"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月</td> <td>果菜類の栽培</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>秋冬野菜の栽培</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	内 容	5月	果菜類の栽培	8月	秋冬野菜の栽培	—
実施月	内 容							
5月	果菜類の栽培							
8月	秋冬野菜の栽培							
	<p><b>広島市市民農園(指定管理業務)</b>  市民農園の管理運営を行い、野菜などの栽培の場を提供するとともに、地域住民主催の行事などの実施により都市農村交流を推進した。</p> <p>(ア) 入園事務  入園者の募集・貸付契約事務、利用料金の徴収</p> <p>(イ) 施設の維持管理  附帯設備の修繕、空き区画の管理など</p> <p>a 三田市民農園  農園 5,500㎡ 112区画 管理棟 1棟  (入園85区画、75.9%)</p> <p>b 見張市民農園  農園 8,650㎡ 178区画 管理棟 1棟  (入園62区画、34.8%)</p> <p>c 三国市民農園  農園 3,375㎡ 137区画  (入園118区画、86.1%)</p> <p>(ウ) 都市農村交流会、講習会などの実施</p> <p>a 三田市民農園 6回 延べ93人  栽培講習会2回、収穫感謝祭、キムチ作りなど</p> <p>b 見張市民農園 13回 延べ719人  栽培講習会2回、収穫祭、おためし区画講習会3回、食農区画サツマイモ植付・掘り取り体験など</p> <p>c 三国市民農園 3回 延べ113人  栽培講習会2回、収穫祭</p>	千円 10,395						

区 分	事 業 内 容 等	決算額
体験活動	(エ) 管理組織の活動支援 a 三田市民農園 4回 施設の管理及び集客・活性化企画運営の検討会など b 見張市民農園 12回 施設の管理、集客・活性化企画運営及び空き区画利 活用の検討会など c 三国市民農園 1回 施設の管理及び集客・活性化企画運営の検討会	—
太田川源流の森整備	<b>太田川源流の森整備</b> 広島市水道局の所有する森林（廿日市市吉和、面積354.92ha）について、水源かん養機能を保全するため、「太田川源流の森整備基本計画」に基づく森林管理を行った。 (ア) 森林整備管理 下刈 3.78ha 除伐 0.88ha 間伐 4.27ha 枝打 11.68ha 合計 20.61ha 作業道維持補修 171m 管理歩道維持補修 路面工 75㎡ 管理歩道新設 305m 境界歩道刈 0.16ha (イ) 普及啓発 水源かん養の重要性を広く啓発するため、水道局が行う普及啓発活動（間伐）をサポートした。 活動場所の下刈 1.39ha	千円 10,780

ウ 水産業の調査及び試験研究並びに普及啓発（公益目的事業3）

34,636,786円

区分	事業内容等	決算額																																																							
調査及び試験研究	<p><b>漁業技術の普及指導等（指定管理業務）</b>                      水産資源の確保及び漁業生産の増大を図るため、次の事業を行った。</p> <p>(ア) カキ養殖に関する調査及び指導                      カキ養殖に関する諸調査を行い、その結果をもとに養殖指導を行った。                      指導件数 1,713件                      (うち来場・現場指導 1,413件)</p> <p>a カキ採苗調査                      良質なカキの生産に必要な種苗を確保するため、カキ採苗についての調査を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="624 770 1286 909"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼生調査</td> <td>6月～10月</td> <td>18地点</td> <td>57回</td> </tr> <tr> <td>種見調査</td> <td>6月～10月</td> <td>20地点</td> <td>80回</td> </tr> </tbody> </table> <p>b 害敵生物調査                      カキの成育不良を引き起こすムラサキイガイなどについて調査を実施した。</p> <p>(a) ムラサキイガイ</p> <table border="1" data-bbox="624 1093 1286 1323"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼生調査</td> <td>4月～6月 1月～3月</td> <td>10地点</td> <td>43回</td> </tr> <tr> <td>付着調査</td> <td>4月～6月 3月</td> <td>11地点</td> <td>29回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) 稚ガキ</p> <table border="1" data-bbox="624 1368 1286 1462"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>付着調査</td> <td>9月～10月</td> <td>5地点</td> <td>7回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(c) アカフジツボ</p> <table border="1" data-bbox="624 1507 1286 1601"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>付着調査</td> <td>8月～11月</td> <td>3地点</td> <td>6回</td> </tr> </tbody> </table> <p>c 出荷サイズ調査                      カキの成育状況、出荷動向などを把握するための調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="624 1738 1286 1832"> <thead> <tr> <th>調査期間</th> <th>対象者数</th> <th>調査件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月～5月、10月～3月</td> <td>9経営体</td> <td>60件</td> </tr> </tbody> </table> <p>d カキ養殖技術研修会                      今年度のカキ採苗に関する展望やムラサキイガイの付着状況などについて研修会を行った。</p> <table border="1" data-bbox="624 1968 1286 2107"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カキ採苗研修会</td> <td>5回</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>カキ人工採苗研修会</td> <td>1回</td> <td>31人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	調査期間	調査地点	調査回数	幼生調査	6月～10月	18地点	57回	種見調査	6月～10月	20地点	80回	区分	調査期間	調査地点	調査回数	幼生調査	4月～6月 1月～3月	10地点	43回	付着調査	4月～6月 3月	11地点	29回	区分	調査期間	調査地点	調査回数	付着調査	9月～10月	5地点	7回	区分	調査期間	調査地点	調査回数	付着調査	8月～11月	3地点	6回	調査期間	対象者数	調査件数	4月～5月、10月～3月	9経営体	60件	区分	回数	人数	カキ採苗研修会	5回	40人	カキ人工採苗研修会	1回	31人	<p>千円 1,708</p>
区分	調査期間	調査地点	調査回数																																																						
幼生調査	6月～10月	18地点	57回																																																						
種見調査	6月～10月	20地点	80回																																																						
区分	調査期間	調査地点	調査回数																																																						
幼生調査	4月～6月 1月～3月	10地点	43回																																																						
付着調査	4月～6月 3月	11地点	29回																																																						
区分	調査期間	調査地点	調査回数																																																						
付着調査	9月～10月	5地点	7回																																																						
区分	調査期間	調査地点	調査回数																																																						
付着調査	8月～11月	3地点	6回																																																						
調査期間	対象者数	調査件数																																																							
4月～5月、10月～3月	9経営体	60件																																																							
区分	回数	人数																																																							
カキ採苗研修会	5回	40人																																																							
カキ人工採苗研修会	1回	31人																																																							

区 分	事 業 内 容 等	決算額																														
調査及び試験研究	<p>(イ) ノリ、ワカメ養殖に関する調査及び指導 ノリ、ワカメの養殖時期に、養殖海域の環境及び生育状況を調査し、養殖の技術指導を行った。</p> <table border="1" data-bbox="608 320 1270 416"> <tr> <td>調査期間</td> <td>調査地点</td> <td>指導件数</td> </tr> <tr> <td>11月～2月</td> <td>8地点</td> <td>138件</td> </tr> </table> <p>(ウ) 魚介類に関する指導 操業海域の環境調査結果などを活用して、漁労漁業者に指導を行った。 指導件数 408件</p> <p>(エ) 漁場環境の調査</p> <p>a カキ漁場環境調査 広島湾北部海域及び大黒神島海域において、カキ養殖に大きな影響を及ぼす水温やプランクトンなどの調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="627 822 1270 1008"> <tr> <td>調査地点数</td> <td>8地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>120回 (4月～3月)</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>水温、塩分濃度、溶存酸素量、プランクトン沈澱量・組成等</td> </tr> </table> <p>b 広島湾底質調査 広島湾北部海域の底質の状態を把握するため、全硫化物量などの調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="627 1144 1270 1283"> <tr> <td>調査地点数</td> <td>3地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>2回 (8月、2月)</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>全硫化物量、泥色、泥温、含水率</td> </tr> </table> <p>(オ) 漁場環境の変化への対応</p> <p>a 船溜水質調査 蓄養中の魚介類のへい死を防ぐため、井口船溜 (西区) の水質調査を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="627 1464 1270 1603"> <tr> <td>調査地点数</td> <td>1地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>4回 (9月、10月)</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>水温、塩分濃度、溶存酸素量</td> </tr> </table> <p>b 有害プランクトン調査 魚介類のへい死や二枚貝の毒化を引き起こす恐れがある有害プランクトンの発生状況を把握するため、原因プランクトンの調査を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="627 1785 1270 1926"> <tr> <td>調査地点数</td> <td>10地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>17回 (4月、5月、7月、8月)</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>有害プランクトンの種類・密度</td> </tr> </table>	調査期間	調査地点	指導件数	11月～2月	8地点	138件	調査地点数	8地点	調査回数	120回 (4月～3月)	調査内容	水温、塩分濃度、溶存酸素量、プランクトン沈澱量・組成等	調査地点数	3地点	調査回数	2回 (8月、2月)	調査内容	全硫化物量、泥色、泥温、含水率	調査地点数	1地点	調査回数	4回 (9月、10月)	調査内容	水温、塩分濃度、溶存酸素量	調査地点数	10地点	調査回数	17回 (4月、5月、7月、8月)	調査内容	有害プランクトンの種類・密度	—
調査期間	調査地点	指導件数																														
11月～2月	8地点	138件																														
調査地点数	8地点																															
調査回数	120回 (4月～3月)																															
調査内容	水温、塩分濃度、溶存酸素量、プランクトン沈澱量・組成等																															
調査地点数	3地点																															
調査回数	2回 (8月、2月)																															
調査内容	全硫化物量、泥色、泥温、含水率																															
調査地点数	1地点																															
調査回数	4回 (9月、10月)																															
調査内容	水温、塩分濃度、溶存酸素量																															
調査地点数	10地点																															
調査回数	17回 (4月、5月、7月、8月)																															
調査内容	有害プランクトンの種類・密度																															

区 分	事 業 内 容 等	決算額																				
調査及び試験研究	<p>(カ) 地元産品の直販指導 ひろしま朝市などで漁業者自らが実施する地元魚介類の販売活動等の指導を行い、地産地消の推進を図った。</p> <table border="1" data-bbox="608 365 1294 521"> <thead> <tr> <th>イベント</th> <th>販売品目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひろしま朝市など 8イベント</td> <td>カキ、鮮魚、ワカメ、ノリ、シジミなど</td> </tr> </tbody> </table> <p>(キ) 情報の提供 カキ採苗調査や漁場環境調査の結果などをもとに情報紙を作成し、漁業団体へ提供した。</p> <table border="1" data-bbox="608 656 1121 891"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>提供件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カキ養殖情報</td> <td>205件</td> </tr> <tr> <td>ノリ、ワカメ養殖情報</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>海況情報</td> <td>25件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>234件</td> </tr> </tbody> </table>	イベント	販売品目	ひろしま朝市など 8イベント	カキ、鮮魚、ワカメ、ノリ、シジミなど	区 分	提供件数	カキ養殖情報	205件	ノリ、ワカメ養殖情報	4件	海況情報	25件	合 計	234件	—						
イベント	販売品目																					
ひろしま朝市など 8イベント	カキ、鮮魚、ワカメ、ノリ、シジミなど																					
区 分	提供件数																					
カキ養殖情報	205件																					
ノリ、ワカメ養殖情報	4件																					
海況情報	25件																					
合 計	234件																					
	<p><b>つくり育てる漁業の推進（指定管理業務）</b> 水産資源の維持増大を図り、新鮮な魚介類を安定的に供給するため、次の事業を行った。</p> <p>(ア) 種苗生産 次のとおり種苗を生産し、広島市に引き渡した。</p> <table border="1" data-bbox="608 1155 1294 1536"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>生産計画</th> <th>生産結果</th> <th>大きさ等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガザミ</td> <td>20万尾</td> <td>24.0万尾</td> <td>稚ガニ 3令以上</td> </tr> <tr> <td>マコガレイ</td> <td>10万尾</td> <td>24.3万尾<sup>※1</sup></td> <td>30mm以上</td> </tr> <tr> <td>オニオコゼ</td> <td>3万尾</td> <td>3.5万尾</td> <td>40mm以上</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>1万尾</td> <td>1.6万尾<sup>※2</sup></td> <td>60mm以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 12万尾（平成26年1月採卵、平成26年4月引渡し分）及び12.3万尾（平成27年1月採卵、平成27年3月引渡し分）の合計  ※2 1.1万尾（平成25年12月採卵、平成26年4月引渡し分）及び0.5万尾（平成26年12月採卵、平成27年3月引渡し分）の合計  なお、3月末現在、約60mm種苗1万尾を飼育中</p> <p>(イ) ヤマトシジミ種苗生産試験及び技術指導 シジミ資源の増大に向け、種苗生産方法の改良を行うとともに、各種試験・研究や漁業者への技術指導等を行った。</p>	種 類	生産計画	生産結果	大きさ等	ガザミ	20万尾	24.0万尾	稚ガニ 3令以上	マコガレイ	10万尾	24.3万尾 <sup>※1</sup>	30mm以上	オニオコゼ	3万尾	3.5万尾	40mm以上	アイナメ	1万尾	1.6万尾 <sup>※2</sup>	60mm以上	千円 30,944
種 類	生産計画	生産結果	大きさ等																			
ガザミ	20万尾	24.0万尾	稚ガニ 3令以上																			
マコガレイ	10万尾	24.3万尾 <sup>※1</sup>	30mm以上																			
オニオコゼ	3万尾	3.5万尾	40mm以上																			
アイナメ	1万尾	1.6万尾 <sup>※2</sup>	60mm以上																			



区 分	事 業 内 容 等	決算額																						
調査及び試験研究	<p>a 種苗生産試験 太田川産のヤマトシジミを用い、種苗生産試験を行った。</p> <table border="1" data-bbox="619 320 1294 595"> <tr> <td data-bbox="619 320 778 365">試験回数</td> <td data-bbox="778 320 1294 365">6回（8月～3月）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 365 778 595">試験結果</td> <td data-bbox="778 365 1294 595">8月～3月にかけて122.4万個の種苗を生産し、殻長0.8mm～4.6mmの108.4万個を4回に分け、人工種苗成育試験等に供した。残り14万個の種苗は、飼育試験を継続している。</td> </tr> </table> <p>b 種苗の中間育成に関する試験研究 (a) 人工種苗成育試験 当センターで生産した人工種苗の成育試験を太田川で実施した。</p> <table border="1" data-bbox="619 775 1294 1099"> <tr> <td data-bbox="619 775 778 819">試験期間</td> <td data-bbox="778 775 1294 819">12月～3月</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 819 778 1099">試験結果</td> <td data-bbox="778 819 1294 1099">殻長2mm及び3mmの種苗を使用して調査を実施した。調査開始から数か月は、概ね順調に成育していたが、1月に大量斃死が確認された。今後、放流種苗の大きさ、放流時期、育成手法等を再検討する。</td> </tr> </table> <p>(b) 天然採苗試験 天然採苗の効率的な手法を検討した。</p> <table border="1" data-bbox="619 1189 1294 1559"> <tr> <td data-bbox="619 1189 778 1234">試験期間</td> <td data-bbox="778 1189 1294 1234">6月～12月</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 1234 778 1559">試験結果</td> <td data-bbox="778 1234 1294 1559">6月に設置した採苗器が8月20日の豪雨により埋没、流出したため、9月上旬に採苗器を新設した。 その結果、計25個体の種苗（平均殻長3.7mm）を確保したが、シジミの産卵期である8月中～下旬のデータが取れなかった。</td> </tr> </table> <p>c ネット被覆による食害防止の効果検証 他産地産種苗をネット被覆により保護し、その効果を検証した。</p> <table border="1" data-bbox="619 1693 1294 1877"> <tr> <td data-bbox="619 1693 778 1738">試験期間</td> <td data-bbox="778 1693 1294 1738">6月～12月</td> </tr> <tr> <td data-bbox="619 1738 778 1877">試験結果</td> <td data-bbox="778 1738 1294 1877">漁業者がネット内に放流した他産地産の種苗200kgについて、約3割が生残していた。</td> </tr> </table> <p>d 種苗生産の技術指導 漁業者自らが取組む種苗生産の技術指導を行った。</p> <table border="1" data-bbox="619 1966 1294 2098"> <thead> <tr> <th data-bbox="619 1966 930 2011">区分</th> <th data-bbox="930 1966 1042 2011">回数</th> <th data-bbox="1042 1966 1294 2011">人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="619 2011 930 2098">ヤマトシジミ種苗生産技術指導</td> <td data-bbox="930 2011 1042 2098">2回</td> <td data-bbox="1042 2011 1294 2098">延べ2人</td> </tr> </tbody> </table>	試験回数	6回（8月～3月）	試験結果	8月～3月にかけて122.4万個の種苗を生産し、殻長0.8mm～4.6mmの108.4万個を4回に分け、人工種苗成育試験等に供した。残り14万個の種苗は、飼育試験を継続している。	試験期間	12月～3月	試験結果	殻長2mm及び3mmの種苗を使用して調査を実施した。調査開始から数か月は、概ね順調に成育していたが、1月に大量斃死が確認された。今後、放流種苗の大きさ、放流時期、育成手法等を再検討する。	試験期間	6月～12月	試験結果	6月に設置した採苗器が8月20日の豪雨により埋没、流出したため、9月上旬に採苗器を新設した。 その結果、計25個体の種苗（平均殻長3.7mm）を確保したが、シジミの産卵期である8月中～下旬のデータが取れなかった。	試験期間	6月～12月	試験結果	漁業者がネット内に放流した他産地産の種苗200kgについて、約3割が生残していた。	区分	回数	人数	ヤマトシジミ種苗生産技術指導	2回	延べ2人	—
試験回数	6回（8月～3月）																							
試験結果	8月～3月にかけて122.4万個の種苗を生産し、殻長0.8mm～4.6mmの108.4万個を4回に分け、人工種苗成育試験等に供した。残り14万個の種苗は、飼育試験を継続している。																							
試験期間	12月～3月																							
試験結果	殻長2mm及び3mmの種苗を使用して調査を実施した。調査開始から数か月は、概ね順調に成育していたが、1月に大量斃死が確認された。今後、放流種苗の大きさ、放流時期、育成手法等を再検討する。																							
試験期間	6月～12月																							
試験結果	6月に設置した採苗器が8月20日の豪雨により埋没、流出したため、9月上旬に採苗器を新設した。 その結果、計25個体の種苗（平均殻長3.7mm）を確保したが、シジミの産卵期である8月中～下旬のデータが取れなかった。																							
試験期間	6月～12月																							
試験結果	漁業者がネット内に放流した他産地産の種苗200kgについて、約3割が生残していた。																							
区分	回数	人数																						
ヤマトシジミ種苗生産技術指導	2回	延べ2人																						

区 分	事 業 内 容 等	決算額																			
調査及び試験研究	<p>(ウ) 種苗放流指導            漁業関係者を対象に、種苗放流、栽培漁業技術などの指導や研修会を行った。</p> <table border="1" data-bbox="608 320 1294 600"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種苗放流指導</td> <td>23回</td> <td>延べ51人</td> </tr> <tr> <td>アサリ種苗放流技術研修会</td> <td>1回</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>ヤマトシジミ種苗生産放流技術研修会</td> <td>1回</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>アユ種苗生産技術指導</td> <td>11回</td> <td>延べ11人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(エ) 種苗放流効果調査 (オニオコゼ)            漁業者からの買取調査における標識放流魚の混入率調査を行い、種苗放流効果の評価を行った。</p> <table border="1" data-bbox="608 734 1294 875"> <tbody> <tr> <td>調査回数</td> <td>1回 (11月)</td> </tr> <tr> <td>調査結果</td> <td>調査魚数 113尾、標識魚数 4尾、混入率 3.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(オ) 施設等の維持管理            施設などを良好に保つため、保守点検、維持補修を行った。            広島市水産振興センター            敷地面積 9,958㎡            本館棟、ガザミ槽棟、飼育棟など 15棟            指導船 (第九市水丸、なきり丸、つくね)</p>	区分	回数	人数	種苗放流指導	23回	延べ51人	アサリ種苗放流技術研修会	1回	12人	ヤマトシジミ種苗生産放流技術研修会	1回	24人	アユ種苗生産技術指導	11回	延べ11人	調査回数	1回 (11月)	調査結果	調査魚数 113尾、標識魚数 4尾、混入率 3.5%	—
区分	回数	人数																			
種苗放流指導	23回	延べ51人																			
アサリ種苗放流技術研修会	1回	12人																			
ヤマトシジミ種苗生産放流技術研修会	1回	24人																			
アユ種苗生産技術指導	11回	延べ11人																			
調査回数	1回 (11月)																				
調査結果	調査魚数 113尾、標識魚数 4尾、混入率 3.5%																				
	<p><b>水産資源に関する調査 (指定管理業務)</b>            資源量や漁獲魚種を把握し、漁業指導の基礎資料とするため、次の調査を行った。</p> <p>(ア) ヤマトシジミ資源状況調査            太田川下流域のシジミ漁場におけるシジミの資源状況、水温及び塩分濃度の調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="608 1496 1066 1597"> <tbody> <tr> <td>時 期</td> <td>6月、10月</td> </tr> <tr> <td>調査地点数</td> <td>10地点</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) アサリの漁場別生息・成育等調査            広島市海域のアサリの漁場別生息・成育状況などの調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="608 1731 1066 1832"> <tbody> <tr> <td>時 期</td> <td>4月</td> </tr> <tr> <td>調査地点数</td> <td>4地点</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ウ) 魚介類の漁獲実態についての聴き取り調査            漁労漁業者から、漁獲状況などについて随時聴き取りを行った。</p> <table border="1" data-bbox="608 1966 1066 2056"> <tbody> <tr> <td>時 期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>75回</td> </tr> </tbody> </table>	時 期	6月、10月	調査地点数	10地点	時 期	4月	調査地点数	4地点	時 期	通年	調査回数	75回	千円 5							
時 期	6月、10月																				
調査地点数	10地点																				
時 期	4月																				
調査地点数	4地点																				
時 期	通年																				
調査回数	75回																				

区 分	事 業 内 容 等	決算額
普及啓発	<p><b>水産業に対する理解の促進（指定管理業務）</b>  水産業への理解の促進を図るため、連携協定を締結した大学などの地元の協力を得ながら、次の事業を行った。</p> <p>(ア) 海辺の教室  魚と漁業に関する学習会の開催  1 1回 参加者 1 5 9組 3 7 9人</p> <p>(イ) イベントの開催  a わくわく！漁業体験  1 1月に漁業団体と共催し、小学3～6年生の児童とその保護者を対象にした漁業体験や、オニオコゼなどの試食による魚食普及、消費拡大のためのイベントを開催した。  来場者数 約5 0 0人</p> <p>b 広島市水産まつり  漁業団体が2月に開催した「広島市水産まつり」に協賛し、施設を公開するなど、「広島市の漁業」や「つくり育てる漁業」などに関する市民への理解を深めた。  来場者数 約1 0, 0 0 0人</p> <p>(ウ) 広島かき子ども体験隊  漁業団体との共催により、参加者が一連のカキ養殖作業を実際に行う体験事業を行った。  3回 参加者 1 5組3 0人</p> <p>(エ) 海と漁業の体験スクール  市内の小学校や子供会などに対し、カキ打ち体験や種苗の放流体験を行った。  1 3回 参加者 8 2 0人</p> <p>(オ) 施設の一般公開  資料展示室を公開するとともに、小中学校などの団体に対して、種苗生産施設の案内及び説明などを行った。  来館者数 1 8, 6 9 7人  団体数 1 2 4団体</p> <p>(カ) 水産知識の情報提供  インターネットなどにより、水産業及び水産生物に関する情報提供を行うとともに、依頼に応じて講師を派遣し、研修会を開催した。</p> <p>a ホームページアクセス件数 1 4, 7 6 1件  b メールマガジン発行 1 2回 登録 1, 4 5 8件  c 講師派遣 5回 受講者 延べ3 2 6人</p>	千円 1,980

(2) 収益事業等

19,509,562円

次のとおり収益事業等を実施した。

区 分	事 業 内 容 等	決算額																																								
畜産振興及び 家畜診療等事業 (その他の事業1)	<p><b>畜産振興及び家畜診療</b></p> <p>市民に安全・安心・新鮮な畜産物を供給するため、畜産農家に対して指導を行った。</p> <p>(ア) 畜産振興</p> <p>畜産農家への巡回指導を行い生産意欲の高揚と飼養技術の向上により、農家経営の安定を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">戸数</th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">指 導 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">乳用牛 振 興</td> <td style="text-align: center;">12戸</td> <td style="text-align: center;">692件</td> <td style="text-align: center;">飼養管理技術指導、良質堆肥作製のための情報提供など</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">和 牛 振 興</td> <td style="text-align: center;">20戸</td> <td style="text-align: center;">321件</td> <td style="text-align: center;">改良増殖指導、耕作放棄地への和牛放牧普及啓発など</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中 小 家 畜 振 興</td> <td style="text-align: center;">9戸</td> <td style="text-align: center;">20件</td> <td style="text-align: center;">尿処理の適正化と環境対策指導など</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) 家畜診療</p> <p>疾病の発生予防と早期発見に努め適切な診療により農家経営の安定を図った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">家畜診療</th> <th style="text-align: center;">無血去勢 ・除角</th> <th style="text-align: center;">人工授精</th> <th style="text-align: center;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">件数</td> <td style="text-align: center;">670件</td> <td style="text-align: center;">43件</td> <td style="text-align: center;">248件</td> <td style="text-align: center;">961件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	戸数	件数	指 導 内 容	乳用牛 振 興	12戸	692件	飼養管理技術指導、良質堆肥作製のための情報提供など	和 牛 振 興	20戸	321件	改良増殖指導、耕作放棄地への和牛放牧普及啓発など	中 小 家 畜 振 興	9戸	20件	尿処理の適正化と環境対策指導など	区分	家畜診療	無血去勢 ・除角	人工授精	合計	件数	670件	43件	248件	961件	千円 6,991														
	区分	戸数	件数	指 導 内 容																																						
	乳用牛 振 興	12戸	692件	飼養管理技術指導、良質堆肥作製のための情報提供など																																						
	和 牛 振 興	20戸	321件	改良増殖指導、耕作放棄地への和牛放牧普及啓発など																																						
	中 小 家 畜 振 興	9戸	20件	尿処理の適正化と環境対策指導など																																						
	区分	家畜診療	無血去勢 ・除角	人工授精	合計																																					
	件数	670件	43件	248件	961件																																					
	<p><b>家畜の改良、増殖（指定管理業務）</b></p> <p>乳用牛・和牛の生産振興、産地育成のため、受精卵移植技術を採用し、農家経営の安定を図った。</p> <p>(ア) 採卵</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">区分</th> <th style="text-align: center;">採卵回数</th> <th style="text-align: center;">採卵個数</th> <th style="text-align: center;">正常卵数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">乳用牛</td> <td style="text-align: center;">2回</td> <td style="text-align: center;">1個</td> <td style="text-align: center;">0個</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">和 牛</td> <td style="text-align: center;">10回</td> <td style="text-align: center;">28個</td> <td style="text-align: center;">7個</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">12回</td> <td style="text-align: center;">29個</td> <td style="text-align: center;">7個</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) 移植</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">供卵牛</th> <th style="text-align: center;">受卵牛</th> <th style="text-align: center;">移植 件数 (A)</th> <th style="text-align: center;">受胎未 確認件 数(B)<sup>※</sup></th> <th style="text-align: center;">受胎 件数 (C)</th> <th style="text-align: center;">受胎率 C/(A-B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">和 牛</td> <td style="text-align: center;">乳用牛</td> <td style="text-align: center;">23件</td> <td style="text-align: center;">5件</td> <td style="text-align: center;">7件</td> <td style="text-align: center;">38.8%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">和 牛</td> <td style="text-align: center;">7件</td> <td style="text-align: center;">3件</td> <td style="text-align: center;">2件</td> <td style="text-align: center;">50.0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">30件</td> <td style="text-align: center;">8件</td> <td style="text-align: center;">9件</td> <td style="text-align: center;">40.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成27年3月末時点で妊娠鑑定できなかった件数。</p>		区分	採卵回数	採卵個数	正常卵数	乳用牛	2回	1個	0個	和 牛	10回	28個	7個	計	12回	29個	7個	供卵牛	受卵牛	移植 件数 (A)	受胎未 確認件 数(B) <sup>※</sup>	受胎 件数 (C)	受胎率 C/(A-B)	和 牛	乳用牛	23件	5件	7件	38.8%	和 牛	7件	3件	2件	50.0%	合 計		30件	8件	9件	40.9%	
	区分	採卵回数	採卵個数	正常卵数																																						
	乳用牛	2回	1個	0個																																						
和 牛	10回	28個	7個																																							
計	12回	29個	7個																																							
供卵牛	受卵牛	移植 件数 (A)	受胎未 確認件 数(B) <sup>※</sup>	受胎 件数 (C)	受胎率 C/(A-B)																																					
和 牛	乳用牛	23件	5件	7件	38.8%																																					
	和 牛	7件	3件	2件	50.0%																																					
合 計		30件	8件	9件	40.9%																																					

区 分	事 業 内 容 等	決算額																
水産物の増養殖 推進事業 (その他の事業2)	<p><b>つくり育てる漁業の推進（指定管理業務）</b> 内水面漁業及び海面養殖業の振興を図るため、種苗を生産し、広島市に引き渡した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>生産計画</th> <th>生産結果</th> <th>大きさ等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アユ</td> <td>70万尾</td> <td>74.7万尾</td> <td>0.5g以上</td> </tr> <tr> <td>モクズガニ</td> <td>40万尾</td> <td>40.0万尾</td> <td>稚ガニ 1令以上</td> </tr> <tr> <td>ワカメ</td> <td>種糸 7,000m</td> <td>種糸 8,300m</td> <td>幼芽3mm以上</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	生産計画	生産結果	大きさ等	アユ	70万尾	74.7万尾	0.5g以上	モクズガニ	40万尾	40.0万尾	稚ガニ 1令以上	ワカメ	種糸 7,000m	種糸 8,300m	幼芽3mm以上	千円 12,103
種 類	生産計画	生産結果	大きさ等															
アユ	70万尾	74.7万尾	0.5g以上															
モクズガニ	40万尾	40.0万尾	稚ガニ 1令以上															
ワカメ	種糸 7,000m	種糸 8,300m	幼芽3mm以上															
自動販売機設置 事業 (収益事業)	<p><b>自動販売機設置</b> 管理施設に自動販売機を設置し、設置業者から販売手数料を受け取った。 設置場所 農業振興センター 1台 水産振興センター 1台 花みどり公園 2台 三田市民農園 1台 見張市民農園 1台</p>	千円 416																

## 7 無償使用貸借資産

事業を実施するにあたって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

### (1) 建物及び土地（平成27年3月31日現在）

名 称	所 在 地	区分	現 在 高
広島市農業振興センター	広島市安佐北区深川八丁目30番12号	建物	事務室等 545.04㎡
広島市農業振興センター安佐分場	広島市安佐北区安佐町大字久地2411番地1	建物	事務室等 132.496㎡

### (2) 物品（平成27年3月31日現在）

区 分		現 在 高
車両	貨物車	5点
	農耕作業用自動車	1点
合 計		6点

注：この表は、重要物品として取得価額又は評価価額が100万円以上の物品を記載した。

## 8 附属明細書

記載すべき事項はありません。